

# 千葉大学医学部附属病院 歯科・顎・口腔外科で 頭頸部放射線治療を受けた患者の皆様、ご家族の皆様へ

2026年1月8日  
歯科・顎・口腔外科

歯科・顎・口腔外科では、「頭頸部放射線治療が唾液腺萎縮におよぼす影響に関する検討」に関する研究を行っており、以下に示す方の診療情報等を、本文書の公開日以降に利用させていただきます。研究内容の詳細を知りたい方や、研究に情報を利用して欲しくない方は、末尾の相談窓口にご連絡ください。

## **本文書の対象となる方**

2014年1月1日から2024年12月31日の間に、千葉大学医学部附属病院 歯科・顎・口腔外科で頭頸部放射線治療を受けた方

### **1. 研究課題名**

「頭頸部放射線治療が唾液腺萎縮におよぼす影響に関する検討」

### **2. 研究期間**

2025年承認日～2028年3月31日

この研究は、千葉大学医学部附属病院観察研究倫理審査委員会の承認を受け、病院長の許可を受けて実施するものです。

### **3. 研究の目的・方法**

頭頸部領域への放射線治療により、唾液を作る器官（唾液腺）が弱って小さくなり、唾液が出にくくなる状態（唾液腺萎縮症状）を引き起こし、口の中が乾燥することが知られております。しかし、放射線治療の方法により唾液腺萎縮がどのように変化するのかという点については十分に検証されておられません。本研究では頭頸部放射線治療を行った患者さんの唾液腺の容積をCTやMRIで評価することで、頭頸部放射線治療が唾液腺萎縮に与える影響について検証します。

### **4. 研究に用いる情報の種類**

本研究では、過去の通常の診療において記録された、診療録に記載されている情報を

収集します。これには、年齢、性別、がんの原発部位、手術内容、放射線治療の方法、CT や MRI などの画像データなどの情報が含まれます。

## 5. 研究組織（情報を利用する者の範囲）

【研究機関名及び本学の研究責任者名】

研究機関：千葉大学医学部附属病院 歯科・顎・口腔外科

研究責任者：准教授 笠松 厚志

## 6. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた情報は、氏名等の個人を特定するような情報を削除し、どなたのものかわからないように加工して、千葉大学医学部附属病院 歯科・顎・口腔外科において厳重に管理します。研究結果を学術雑誌や学会で発表することがありますが、個人が特定されない形で行われます。

本研究についてご希望があれば、研究結果について当該機関の研究者等の判断の下、原則、研究対象者に開示します。また、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で、研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手又は閲覧することができますので、相談窓口までお申し出ください。個人情報の開示に係る手続きの詳細については、千葉大学のホームページ、共同研究機関ホームページを参照下さい。

千葉大学 URL : <http://www.chiba-u.ac.jp/general/disclosure/security/privacy.html>

## 7. 研究についての相談窓口について

研究に情報を利用して欲しくない場合には、研究対象とせず、原則として研究結果の発表前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口までお申し出ください。

情報の利用をご了承いただけない場合でも、不利益が生じる事はありません。

その他本研究に関するご質問、ご相談等は、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

相談窓口

〒260-8677

千葉県千葉市中央区亥鼻1-8-1

千葉大学医学部附属病院（病院長：大鳥 精司）

千葉大学医学部附属病院 歯科・顎・口腔外科 准教授 笠松厚志

043（222）7171 内線 6831